

岐阜未来遺産事業 インバウンド対応研修業務に係る質疑応答

質問番号	質問	回答
1	今回の研修は「恵那市岩村地域におけるインバウンド対応をする者の対応力向上を目的」と記載されていますが、どのような成果を期待しているか教えてください。	今回の事業では、欧米豪のインバウンドの受け入れ体制整備を目的としております。 観光ガイドは、主要観光スポットの説明ができ、簡単な質問の対応ができる程度を期待しています。 飲食店小売店の方は、日常会話と簡単な質問の対応ができる程度を期待しています。
2	今回の受講対象者（観光ガイドと飲食店、小売店の方）の年齢層を教えてください。	今後募集をするため、確実な年齢層をお伝えすることはできません。現在、観光ガイドをされている方は60代から70代、飲食店小売店の方は30代から70代です。
3	現場（例えば岩村村址等）で実際のガイド研修（実習）等を実施することは可能でしょうか。例）実際の飲食店や観光地での実習研修	岩村村址等の観光施設での研修は実施可能です。ただし、店舗を利用される場合は、相談が必要です。
4	研修会場でビデオを使つての研修を実施する場合、設備はいかがでしょうか。	岩村地域で集合研修を行う施設として岩村コミュニティセンターがございます。ホールご利用の際は、備え付けのスクリーンはありますが、その他機材につきましてはお持ち込みをお願いします。
5	公募スケジュール（5）プレゼンテーション及び審査と記されています。 令和6年12月24日（火）に現地に担当講師が出向いてプレゼンテーションの実施がされるということでしょうか。	令和6年12月24日（火）に事業者としての提案をプレゼンテーションしていただきます。プレゼンテーションしていただく方は、講師に限らずどなたでも結構です。